



2019年4月25日

各位

会社名 カドカワ株式会社
代表者名 代表取締役社長 松原 眞樹
(コード番号：9468 東証第一部)
問合せ先 執行役員 沖野 総司
(TEL. 03-3549-6370)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年2月13日に公表した2019年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 通期連結業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	207,000	1,900	2,900	△4,300	△67.07
今回修正予想 (B)	208,600	2,700	4,200	△4,100	△64.16
増減額 (B-A)	1,600	800	1,300	200	
増減率 (%)	0.8%	42.1%	44.8%	—	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	206,785	3,144	3,716	1,038	15.53

2. 修正の理由

(営業利益について)

映像・ゲーム事業において、3月22日に世界で同時発売されたアクションアドベンチャーゲーム「SEKIRO: SHADOWS DIE TWICE」(連結子会社(株)フロム・ソフトウェアと米Activision社の共同開発作品)が当初予想を上回る販売実績を記録し、出版事業においても書籍、電子書籍・電子雑誌の売上が好調に推移した一方、Webサービス事業においては前回発表予想(2019年2月13日公表)では未定であった連結子会社(株)ドワンゴ(以下「ドワンゴ」)の事業見直し・事業撤退にかかる費用を1,096百万円追加計上しました。その結果、営業利益は前回発表予想を800百万円上回る見込みです。

(経常利益について)

上記の増益要因に加え、為替差益等の営業外収益の影響により、経常利益は前回発表予想を1,300百万円上回る見込みです。

(親会社株主に帰属する当期純利益について)

上記の増益要因に加え、特別損失として前回発表予想では未定であったドワンゴの構造改革費用を455百万円追加計上したこと等により、当期純損失は前回発表予想を200百万円下回る見込みです。

※上記の通期連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により、予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上